

これまでの市民提案について

県立病院跡地は、将来に向けた本市のまちづくりの重要な拠点となります。

そこで、県立病院跡地利用に対する直接的な要望等に加えて、平成 29 年度からの 10 年間を計画期間とする『会津若松市第 7 次総合計画』の策定に際して、平成 27 年度から平成 28 年度までの間に設けた、様々な市民参画の場において出された意見なども含めて、いかに取りまとめました。

I. 要望及び陳情等

市内の団体から寄せられた意見・要望の中から、県立病院跡地利用に関するものについて以下に記載します。

時期	要望者/要望先	内容
H20～H28	「会津総合開発協議会」から「県（スポーツ局）」宛	県内の武道競技振興の拠点となる施設整備のあり方を検討し、会津地方に県営武道館の整備を図ること。
H26. 6. 3	「市長」から「県知事」宛	県内の武道競技振興の拠点となる施設整備のあり方を検討し、会津地方に県営武道館を整備していただきたい。
H26. 4. 24	「福島県営会津武道館建設促進期成会」から「市長」宛	本県を代表する観光地であることから、国内はもとより、訪日外国人の増加にも対応できる受入体制の充実が課題であることから、地域に求められる機能をミックスさせた多機能型施設として、県営武道館の整備を県等の関係機関に強く働きかけること。
H27. 11. 5	「医療と福祉を良くする会津の会」から「市長」宛	子どもから高齢者までの市民が総合的に利用できる「文化福祉センター」のような施設づくりを県に要望してほしい
H27. 12. 10	「謹教地区町内会連合会」から「市長」宛（対話集会）	県立病院跡地にザベリオ学園の校庭を移転する。ザベリオ学園跡地に葵高校の校庭を移転、葵高校グラウンド跡地に会津若松市役所を建設する。

時期	要望者/要望先	内容
H27. 12. 14	「勤労協会会津若松市連合会／河東町勤労者協議会」から「市長」宛	<p>一帯を文化ゾーンと位置づけ、一体的な利活用を図ること及び同ゾーンに市立美術館の整備、又は、県立美術館を誘致すること。</p>
H28. 10. 28	「区長会」から「市長」宛	<p>防犯上の心配がある為早急に状況を進展させてほしい。</p> <p>福島県と会津若松市がスピード感を持って協議を重ね、適切な負担額で入所できる介護施設や、美術館の建設が大事な事業だと考える。</p>
H28. 11. 1	「医療と福祉を良くする会津の会」から「市長」宛	<p>市民が総合的に活用できる「文化福祉センター」に併せ福島市の「コムコム」や郡山市の「ニコニコ子ども館」のような子育て支援施設を含む屋内遊び場や運動公園を整備することを県へ要望してほしい。</p>
H29. 2. 1	「謹教地区町内会連合会」から「市長」宛（対話集会）	<p>県立病院跡地利用で「武道館」より「美術館」を建設してほしい。</p>
H28. 11. 28	「会津若松市商工会議所」から「市議会議長」宛	<p>全国大会の開催が可能な規模で、かつ、コンベンションや防災備蓄といった地域に求められる多様な機能を有する多機能型施設としての県営武道館を県立会津総合病院跡地へ誘致すべく県に働きかけること。</p> <p>➤ H29. 2. 15 請願取り下げ</p> <p>県が病院跡地を地元自治体に有償譲渡する方針を固めたとの報道を踏まえ、請願者が請願を取り下げ。</p>

II. 第7次総合計画策定時における市民提案等

『会津若松市第7次総合計画』の策定にあたり、市では、より多くの市民の声を取り入れた計画とするために、様々な会議やワークショップを開催しました。

議論の中で、これからのまちのあり方について、期待することや具体的な要望事項に至るまで、様々な意見が出ましたので、それらを広義の市民提案として以下に取りまとめます。

※ 県立病院跡地の利用に関する要望ではありません。

1. あいづ創生市民会議

第7次総合計画の策定にあたり、市民の意見やアイデアを計画に取り入れることを目的として、「あいづ創生市民会議」を9回にわたって開催しました。各回でテーマを設定し、5つの分科会で議論する中で出された意見は、以下の通りです。

テーマ「私が考える理想のまち」

観光産業や伝統産業等の地域資源を「見える化」する

- ・ まち全体でバリアフリー
- ・ 幼老施設の整備
- ・

テーマ「女性が住んでみたいまち」

- ・ 公共施設内や、イベント開催時の会場に託児所を設置する。
- ・ 移住してきた女性が地域に馴染む為の交流の場としてサロンを設置する。
- ・ 会津大学を総合大学にする
- ・ 雪を気にせずに子連れで外に出られるよう地下駐車場の整備

2. 庁舎検討懇談会

第4回ワークショップで議論した「庁舎に求められる役割」についての意見の中に見られた、必ずしも庁舎に限定しない要望は以下の通りです。

(まちづくり、地域活性化)

- ・ 地産地消無農薬レストランの併設によるまちの活性化
- ・ 観光拠点の形成
- ・ 多様なニーズに対応できるスペースの提供
- ・ 市民が集まれる中心的なイベント等のスペースを確保する
- ・ 文化的な催事場として有効活用し市民が集まる場を提供する
- ・ まちの賑わいを創出する為の拠点となり、中心市街地活性化に寄与する
- ・ 各種事業主体の宣伝に繋がる場所とする
- ・ インキュベーション機能の付加により産業振興を図る

3. 高校生ワークショップ

第7次総合計画策定に向けて、市民と認識を共有する取り組みの1つとして、若い世代による新しいアイデアの創出を期待して「高校生ワークショップ」を開催しました。ワークショップでは、4つのグループに分かれてまちのあり方を検討し、その中で、以下のような要望（期待すること）が挙げられました。

(駅周辺の理想的なあり方や希望)

- ・ スターバックス
- ・ 高校生主催のイベントを実施できるようなライブ会場
- ・ モスバーガー等の飲食店やカフェ等休憩できる店
- ・ 運動できるスペース
- ・ 映画館
- ・ イベントスペース
- ・ 駅前を4つのエリアに分け、それぞれコンセプトを持たせて整備する
- ・ 「会津らしさ」を備えた施設として物産館や、武道場
- ・ 地域の人にとって魅力的な場所となる、中庭を備えたショッピングセンター
- ・ ホテルの宿泊客や、観光客向けの店

(将来の自分達が高齢者となった時の視点で必要)

- ・ 屋根付きゲートボール場